

題字を書きました



緑ヶ丘小学校3年
沖可倫さん

3月11日に行われた一輪車大会で、友だち3人と一緒に出場したりレーで銅メダルを取りました。来年は個人でもいい成績を収めたいです。3年生になったので、計算が得意になるように頑張ります。将来はケーキ屋さんになりたいです。

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
☎福祉課福祉係 ☎ 63-1406

荒尾市ホームページ
http://www.city.arao.lg.jp

携帯電話専用サイト (通信費は閲覧者負担)
http://www.city.arao.lg.jp/defaultM.aspx



もくじ contents

- 1 表紙 荒尾市制施行 70 周年
- 2 広報あらお 4 月 1 日号 もくじ
★「題字を書きました」 緑ヶ丘小 3 年 沖可倫さん
- 3 市長室から
- 4-13 特集 つないでいく「夢」の物語
- 14-15 夢をつないだ 70 年 さらに未来に はばたけ荒尾
荒尾市制施行 70 周年記念 式典など催しを行います
- 16-17 ありあけ浄水場供用開始
- 18-21 Town Topics まちの話題
清里地区でまちづくり談義／にしばるさん／シンガポール孫文記念館来荒／万田山ハイキング／災害時廃棄物処理協定／元気づくり交流会／タグラグビー指導教室／市民活動リーダー養成講座／クロスカントリーカーニバル／宮崎兄弟の生家ひな祭り華展／中央公民館まつり／みどりが丘元氣かい元氣プラン提出／中学校卒業式／消防団表彰／100 歳おめでとうございます
- 22-26 保健・健康 のびのび健康
健康って気持ちいい！／社会保険などの被扶養者の特定健診／食中毒にご注意／荒尾市健康づくり推進員を募集／ビート・コア・ウォーキング／愛の献血 (4 月)／健康相談／予防接種 [定期予防接種／任意予防接種／日本脳炎／予防接種委託医療機関一覧]
- 27 市民病院からのお知らせ
糖尿病教室瑞鳳会／医師の退任と赴任
- 28-29 子育てのひろば すくすく子育て
乳幼児医療費が就学前まで無料になります／特別児童扶養手当などの額が変更／母子健診日程／4 月のイベント [地域子育て支援拠点事業／子育てサークル・クラブのひろば／おはなしかいへどうぞ／荒尾市立図書館の休館日]
- 30-35 くらしの情報 PICK UP
固定資産税台帳の閲覧・縦覧／後期高齢者医療保険の被保険者の皆さんへ／荒尾の資源 (宝) にまつわるエピソードを募集／65 歳以上の人の介護保険料を一部見直し／市長とまちづくりトークを中央地区で開催／下水道受益者負担金の申告／春季犬の登録と狂犬病集合予防注射／国民健康保険税を引き上げます／移動図書館「読む読むくん」巡回日程表／お詫びと訂正／国民年金保険料学生納付特例制度の受付開始／農作業標準雇用賃金を取り決めました／万田坑・宮崎兄弟の生家で 4 力国語音声ガイドシステムを導入／荒尾市消費生活センターを設置／観光物産館・万田坑ステーションで「びほう小岱」「荒尾乃葡萄酒」の販売開始／公衆トイレが完成
- 36-37 くらしの情報
荒尾市潮湯の再開／春の交通安全運動を実施／障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例が全面施行／インターネット公売を開催／里親を募集／地下水接種量報告書を提出してください／市民活動ライブラリーの本を貸し出します／農業を散布するときはミツバチに気をつけて／4 月・5 月のごみ収集日・リサイクル日程の変更／光化学スモッグにご注意／いきいき人づくり事業運営委員会委員募集／協会けんぽ健康保険料が引き上げられます [有料広告]
- 38-39 試験・募集・イベント
宮崎兄弟の生家春の牡丹茶会／荒尾市社会福祉事業団春の感謝祭／ポリテクセンター荒尾職業訓練内容説明会／上小路子ども神楽／万田坑市民まつり／荒尾海岸バードウォッチング／写真同人会写真展「山からの詩」／特定テーマごとの日曜日労働相談／働く女性の家主催講座／JICA ボランティア募集／ホストファミリー募集／自衛官募集 [有料広告]
- 40 皆さんの活動を支援します 補助金情報
生ごみ処理機器設置補助／浄化槽設置補助／防犯灯設置補助／花のまちづくり推進事業／いきいき人づくり事業助成／市民活動サポート事業助成／社会福祉振興基金事業／文化振興基金事業／国際交流推進事業
- 41 文化センター情報
うまか〜レシピ／ちょっと足をのばして／今月の税／人権標語／リサイクル事業収集実績／相談の窓口／人の動き／編集後記
- 42-43 医療カレンダー 4 月
- 44 イベントカレンダー 4 月
- 46-47 交通安全特集 荒尾・玉名地域広報担当者による合同記事
- 48 ひとのちから CLOSE UP 佐藤誠治さん

4 月から「広報あらお」は月 1 回 (1 日) 発行します

市長室から

平成 24 年 4 月

春たけなわ。満開の桜と梨の花が新たな門出を祝福しているかのように咲き乱れ、木々も芽吹き新緑の葉が茂る新たな年度を迎えました。

昨年東日本を襲った大震災から 1 年が過ぎ、被災地では少しずつ希望に向かって動き出しております。一日も早い復興と、そこで暮らす全ての方々の幸せを願うばかりです。

今、その大震災の教訓から自主防災組織が見直されております。幸いにして荒尾市は過去に大きな災害もなく、地形などからみても本当に住みやすいまちと言

われておりますが、いざ災害が起こった時は「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えが必要です。市では市民の皆様が安心して暮らせるよう自主防災組織の設立を促進しておりますので、未設立の地域では、ぜひ導入をお願いいたします。

さて、本市は昭和 17 年 4 月に市制を施行し、今年 4 月 1 日に 70 周年を迎えました。この節目の年に当たり、「夢をつないだ 70 年 さらに未来へ はばたけ荒尾」をキャッチフレーズとして、4 月 8 日の「荒尾市制施行 70 周年記念式典」および「荒尾駅前再整備竣工式典」を

皮切りに各種事業を実施いたします。これらの事業を通じて、先人たちの功績に感謝するとともに、市民の皆様と共に祝い、地域全体が一体となって 70 周年を市内外に広くアピールし、今後の荒尾市の新たな飛躍発展につなげてまいりたいと思っております。

また、今年は日中国交正常化 40 周年です。市役所の近くにある宮崎兄弟生家には、冬の終わりと春の到来を告げる「梅」があります。この梅は季節の変わり目を知らせてくれるだけでなく、1913 年に、国賓として来日した孫文が宮崎家を訪れた際に、この梅の前で宮崎滔天らと写真撮影が行われており、孫文と滔天の友情の歴史を物語る「友情の梅」と呼ばれております。その梅の木を「接ぎ木」した苗木を日中友好の証として、去る 2 月 28 日に東京都にある中国駐日本国大使館において、程永華駐日大使や宮崎家子孫の方々と共に植樹いたしました。また、今秋には中国上海市において宮崎滔天と孫文に関する企

画展の開催を計画しております。未だ日中関係は良好とは言えないものがありますが、この「友情の梅」が孫文・滔天の終生変わらぬ友情の歴史を表す日中友好のシンボルとして後世にまで語り継がれ、末永い友好関係を築ければと思っております。

今我々は、中長期的視野で人口減少と少子高齢化の進展による影響、3 月末で事業廃止となりました荒尾競馬関連対策、また病院事業の経営安定化などに対応していく必要があります。そのため、本年度から、目指す市の将来像を『しあわせ 優都 あらお』とする、まちづくりのマスタープラン「第 5 次荒尾市総合計画」を基軸とした各種諸施策を推進することで、人や物の交流を活性化させ、まちの賑わいと定住にふさわしい環境を創造し、みんなが憧れ、みんなに選ばれる「元氣なあらお」づくりに取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

荒尾市長 前畑淳治



1



2

1. 2 月 14 日 (火) に行われた中国駐福岡総領事館での記念植樹式。前畑市長が李天然総領事に、孫文と滔天が荒尾で撮影した記念写真の複製を贈呈しました (写真中央)。
2. 2 月 28 日 (火) 中国駐日本国大使館 (東京) で行った植樹式。右から程永華駐日大使、宮崎黄石さん (滔天のひ孫)、野田毅日中協会会長、宮崎路冬さん (滔天の孫)。